

地域再生計画新旧対照表

新	旧
<p>4 地域再生計画の目標 <<地域再生に向けた取り組みの実績>> (1)～(3) 略 <u>(4)国立天文台との包括協定の締結</u> <u>三鷹市では、かねてより市民から広大で豊かな自然環境をもつ国立天文台の地域への開放という強い要望があり、近年、国立天文台とさまざまな協働の取り組みを進めてきた経緯がある。平成21年7月には国立天文台の旧官舎を復元してつくる「星と森の絵本の家」の開設を予定する等、「天文台のあるまち三鷹」としてこれまで以上に多様な連携が重要になっている。</u> <u>こうした背景の中で、宇宙、自然、科学、文化などに関する事業等について、これまで以上に幅広く協力・連携することをお互いに確認するため、平成21年2月に三鷹市は国立天文台との間で「国立天文台と三鷹市との相互協力に関する協定」を締結した。</u></p> <p><<地域再生が目指すもの>> 科学を文化として地域社会に根付かせることで、科学をテーマにしたまちぐるみのイベント等の開催により、養成した人財の活躍の場を提供するとともに、<u>理科・科学教育への波及効果や都市観光の面からも、新たな地域再生の枠組みの創出を目指す。</u></p> <p><<人財育成の目標>> <u>(1)国立天文台の人財養成への支援</u> <u>①付加価値の高い～（以下、略）</u> <u>②最先端科学の知識の提供と～（以下、略）</u> <u>(2)国立天文台の協力によるボランティア人財の育成</u> <u>(3)科学文化のまちづくりを支援～（以下、略）</u></p> <p>5 目標を達成するために行う事業 5-1 全体の概要 （中略） また、科学をテーマとしたまちぐるみのイベントや関連した講座などを開催し、科学文化と都市観光を基盤に、地域の活性化に取り組む。「世界天文年 2009 三鷹地域イ</p>	<p>4 地域再生計画の目標 <<地域再生に向けた取り組みの実績>> (1)～(3) 略 （追加）</p> <p><<地域再生が目指すもの>> 科学を文化として地域社会に根付かせることで、科学をテーマにしたまちぐるみのイベント開催や、<u>国際的な科学・立体映像祭の開催など、養成した人財の活躍の場を提供するとともに、都市観光の面からも、新たな地域再生の枠組みの創出を目指す。</u></p> <p><<人財育成の目標>> （追加） <u>(1)付加価値の高い～（以下、略）</u> <u>(2)最先端科学の知識の提供と～（以下、略）</u> （追加） <u>(3)科学文化のまちづくりを支援～（以下、略）</u></p> <p>5 目標を達成するために行う事業 5-1 全体の概要 （中略） また、科学をテーマとしたまちぐるみのイベントや関連した講座などを開催し、科学文化と都市観光を基盤に、地域の活性化に取り組む。「世界天文年 2009 三鷹地域イ</p>

べント」をきっかけとした「三鷹の森 科学文化祭(仮称)」の開催のほか、国立天文台と連携した人財の養成や、小・中学校生向けの理科・科学教育を通して、科学文化の普及と推進を図る。

さらに科学技術の専門性の高い人財育成と同時に、科学文化の創出・活用による、より豊かな地域社会の創造をめざして、科学文化のまちづくりを支援するボランティアの人財育成や、学校教育への支援等を推進する。「科学文化のまちづくりを支援するボランティアの人財育成（天文コンシェルジュ）」では、「星のソムリエ」「4D2U ナビゲータ」「天文台ガイド」「科学の語り部」について、天文学や科学に関する様々な分野で、ガイドや解説などをボランティアに行える人財の育成を行う。（以下、略）

5-3 その他の事業

5-3-1 支援措置による取り組み

(1) 支援措置の名称及び番号

B0801 科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム

(中略)

(削除)

また、今回の人財育成プログラムの基礎部分を構成する～（以下、略）

<<具体的な人財育成イメージ>>

映像コンテンツ産業人財の高度化と新規事業創出支援を目指して、国立天文台が養成する下記の人財の育成を支援する。

(以下、略)

(2) 支援措置の名称及び番号

B2001 官民パートナーシップ確立のための支援事業

①事業名称

「三鷹の森 科学文化祭(仮称)」開催に関

べント」をきっかけとした「三鷹サイエンス・フェスティバル(仮称)」の開催のほか、国立天文台との連携した人財の養成や、小・中学校生向けの科学に関するキャリア教育を通して、科学文化の普及と推進を図る。

さらに科学技術の専門性の高い人財育成と同時に、科学文化の創出・活用による、より豊かな地域社会の創造をめざして、科学文化のまちづくりを支援するボランティアの人財育成や、学校教育への支援等を推進する。「科学文化のまちづくりを支援するボランティアの人財育成（天文コンシェルジュ）」では、「星のソムリエ」「4D2U ナビゲータ」「天文台ガイド」「科学の語り部」の4つの分野で、天文学や科学に関する様々な分野で、ガイドや解説などをボランティアに行える人財の育成を行う。（以下、略）

5-3 その他の事業

5-3-1 支援措置による取り組み

(1) 支援措置の名称及び番号

B0801 科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム

(中略)

さらに、三鷹ネットワーク大学には活動開始から1年半が経過した平成19年5月段階で約950人の登録受講者がいるが、その25.6%の人が天文学に興味があると回答しており、三鷹という地域社会では、市民にとって天文学が非常に身近でありニーズが高いことが伺える結果となっている。(全35ジャンルの中で1位。2位は歴史学、3位は文学。)

また、今回の人財育成プログラムの基礎部分を構成する～（以下、略）

<<具体的な人財育成イメージ>>

映像コンテンツ産業人財の高度化と新規事業創出支援を目指して、下記の人財を育成する。

(以下、略)

(2) 支援措置の名称及び番号

B2001 官民パートナーシップ確立のための支援事業

①事業名称

科学文化と都市観光を基盤とした地域活性

<p>する地域活性化プロジェクト</p> <p>②略</p> <p>③実施予定期間 平成21年度中</p> <p>④略</p> <p>⑤事業内容 《市民向け講座等の開催》 (ア)初心者のための望遠鏡講座 2009年は世界天文年であり、ガリレオ・ガリレイが望遠鏡で月を観測してから400年目であることを記念していることから、天体望遠鏡を使ったことのない市民を対象に初心者向けの望遠鏡キットを使った望遠鏡のしくみを知り、天体望遠鏡の使い方を学ぶ講座を開催する。</p> <p>(イ)天文学者への100の質問～市民がつくる天文講座～ 市民の質問によって構成する連続講座を開催する。研究機関や大学が主催する講演会等は科学者からの一方的な知識の提供に留まる傾向があることから、まず始めに市民から天文に関する質問を募集することで、市民参加による講座運営を実現する。</p> <p>(ウ)「サイエンス・カフェ」の開催 三鷹駅前周辺の飲食店に「サイエンス・カフェ」の実施を呼びかけ、講師を派遣する。また、三鷹ネットワーク大学が国立天文台の協力を受けて実施している「アストロノミー・バブ」についても、国立天文台を中心とした教育・研究機関との協働により、三鷹ネットワーク大学が講師を招聘して、実施する。</p> <p>《「巡回科学館」機能》 科学に関する様々なイベントが、小中学校や幼稚園、保育園を巡回して、子供や保護者に基礎的な科学の知識を楽しんでもらうための機能。</p> <p>(ア) 幼稚園・保育園等での活動 ガリレオや月をテーマにした人形劇等を企画し、希望する幼稚園・保育園等へ出張して上演する。</p> <p>(イ)市内小・中学校での観望会等の開催 市内小・中学校への出前授業や、4次元デジタル宇宙シアターを使った星空解説、</p>	<p>化プロジェクト</p> <p>②略</p> <p>③実施予定期間 認定の日から平成21年2月まで</p> <p>④略</p> <p>⑤事業内容 (追加)</p>
--	---

観望会の開催などについて、小・中学校理科教諭研修の内容とも連携しつつ、各学校から希望を募って実施する。

(ウ)作品展の開催

市内在住の小・中学生を対象に、「天文」に関する絵画作品を募集して展示するとともに、優秀作品を選んで表彰する。

《科学文化に関わる人財の養成》

科学文化の普及と推進に携わる市民のボランティア人財を、国立天文台との連携の中から育成し、少子高齢化が進む地域社会で、新たな活躍の場を求める市民ニーズに対応する事業として実施する。

(ア) 4D2Uナビゲータ養成講座

国立天文台が独自に開発し、ウェブ上で無償で配信している「四次元デジタル宇宙シアター（4D2U）」のソフトウェア「Mitaka」の使い方を学び、市民が自由に疑似的な宇宙空間をパソコンで楽しむ方法を解説する人財の養成を行う。

(イ)小・中学校理科教諭対象研修会の開催

小・中学校の理科教諭を対象とした科学に関する研修会を、夏休み・冬休みの2回開催する。

《事業実施によって期待される効果》

国立天文台が養成している人財や、三鷹ネットワーク大学が既に養成を始めているボランティア人財を活用することで、人財の活躍の場を提供する。科学系イベントの開催により、国立天文台やNPO法人等との連携や、市民との協働による地域社会の活性化が期待できる。市民は、地域社会に提供される科学文化の消費者であると同時にサービスの創出・提供を行う主体としても活躍することが想定され、科学文化の醸成による新たなネットワーク形成が期待できる。

(削除)

《「世界天文年2009三鷹地域イベント」等の開催》

科学をテーマにしたまちぐるみのイベントとして、「世界天文年2009三鷹地域イベント」と連動した講座や催しを開催する

	<p>とともに、都市観光の面からも、新たな地域再生の枠組みを創出する。</p> <p><u>ア) 初心者のための望遠鏡講座（11月～12月）</u></p> <p><u>2009年の世界天文年が、ガリレオ・ガリレイが望遠鏡で月を観測してから400年目であることを記念していることから、「世界天文年2009プレイベント」として、天体望遠鏡を使ったことのない市民を対象に初心者向けの望遠鏡キットを使った望遠鏡のしくみを知る講座や、天体望遠鏡の使い方を学ぶ講座を開催する。</u></p> <p><u>講師は国立天文台の専門家に依頼するとともに、望遠鏡操作に関するアシスタントには、三鷹ネットワーク大学が既に養成を始めている「星のソムリエみたか」の修了生があたる。</u></p> <p><u>イ) 天文学者への100の質問～市民が創る天文講座～（1月～2月）</u></p> <p><u>世界天文年2009三鷹地域イベントの皮切りとして、市民の質問によって構成する連続講座を開催する。研究機関や大学が主催する講演会等は科学者からの一方的な知識の提供に留まる傾向があることから、まず始めに市民から天文に関する質問を募集することで、市民参加による講座運営を実現する。</u></p> <p><u>寄せられた質問から講座を構成する作業等については、科学技術振興調整費を受けて国立天文台が養成している「科学プロデューサー養成コース」受講生及び修了生があたる。</u></p> <p><u>《科学文化に関わる市民人財の養成》</u></p> <p><u>科学文化の普及と推進に携わる市民のボランティア人財を、国立天文台との連携の中から育成し、少子高齢化が進む地域社会で、新たな活躍の場を求める市民ニーズに対応する事業として実施する。</u></p> <p><u>ア) 「三鷹通」養成講座～大沢の里編～（12月～1月）</u></p> <p><u>特定非営利活動法人みたか都市観光協会との協働で開催している「三鷹通」養成講座について、みたか都市観光協会、みたか観光ガイド協会等の地域団体や、国立天文台と連携し、国立天文台を含む「大沢の里」一帯にスポットをあてて実施する。豊かな</u></p>
--	--

自然環境と、遺跡、水田や水車小屋などの農村文化、天文台内に残る文化遺産としての建築物、最先端の科学に関する知識など、多様な要素を含む大沢地域全般に関する講座を開催する。本講座終了後には希望者に対して、みたか観光ガイド協会に「大沢の里ガイド」として登録し活動できるようなしくみづくりを行う。

イ) 4D2Uナビゲータ養成講座

国立天文台が独自に開発し、ウェブ上で無償で配信している「四次元デジタル宇宙シアター(4D2U)」のソフトウェア「MITAKA」の使い方を学び、市民が自由に疑似的な宇宙空間をパソコン上で楽しむ方法をナビゲートする人財の養成を行う。

《小・中学校での科学教育・キャリア教育支援》

科学文化の普及について、学校教育現場への波及効果として、理科教育に携わる小・中学校教員への研修や、地域の特色ある産業であるアニメーション・コンテンツ産業を題材にした小・中学生向けのキャリア教育を実施する。

ア) 小・中学校理科教諭対象研修会「地球がもしも100cmの球だったら～宇宙から見た地球環境～」(12月～2月)

小・中学校の理科教諭を対象として、地球・月・太陽系の大きさを身近なスケールに置き換えて捉えなおす中から、地球環境を守ることの大切さを学び、天文と環境を結びつけた授業が展開できるようになるための研修。本研修は、教諭対象の研修であるとともに、2009年の世界天文年にあわせて、実際の授業を行う際に使える小道具等のキットの作成・配布や、授業を支援するアシスタントの派遣などを付加した、実践的な内容とする。教員研修を実施した後に、希望する学校を対象として授業実践のサポートも行い、小・中学生の理科離れを防ぐための授業実施をめざす。

研修・授業用キットの作成や授業支援のコーディネートについては科学技術振興調整費を受けて国立天文台が養成している「科学

<p>5-3-2 基本方針に掲げられた支援措置によらない独自の取り組み</p> <p>((2) まで略)</p> <p><u>(3)アニメーション等を活用したキャリア教育支援</u> <u>三鷹ネットワーク大学では、平成17年度から19年度までの3年間、経済産業省の「地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト」を受託して「クリエイティブ・キャリア・プログラム」を市内の小・中学校を対象に実施してきた。この経験を活かし、コンテンツ産業を中心としつつ、より広範なキャリア教育に関する取組をめざし、外部講師の紹介や派遣を行う。</u></p>	<p><u>プロデューサ養成コース」受講生及び修了生が、また、実際の授業支援については「星のソムリエみたか」の修了生も加わってあたる。</u></p> <p><u>イ) 小・中学生向けのキャリア教育（11月～2月）</u> <u>小・中学校の総合的学習の時間の中で、希望する学校に対して、コンテンツ産業等を中心とした外部講師を派遣し、幅広いキャリア教育を支援する。</u> <u>三鷹ネットワーク大学では、平成17年度から19年度までの3年間、経済産業省の「地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト」を受託して「クリエイティブ・キャリア・プログラム」を市内の小・中学校を対象に実施してきた。平成20年度からは、3年間の経験を活かし、コンテンツ産業を中心としつつ、より広範なキャリア教育に関する取組をめざし、外部講師の紹介や派遣を行う。</u></p> <p>5-3-2 基本方針に掲げられた支援措置によらない独自の取り組み</p> <p>((2) まで略)</p> <p>(追加)</p>
---	--